

冬から春へ



2月2日には、一足早く『豆まき』が行われました。年男の5年生が、校章を家紋に見立てた袴を身にまとい、「鬼は外！福は内！」の元気な声を校長室に鳴り響かせてくれました。これで、来年度もみんな元気で楽しい学校になりそうです。

校庭には、大型遊具の完成が近づいてきました。カラフルな色の遊具が設置されることで、校庭が明るくなりました。校庭には、まだ雪が残っていますが、もうすぐ春です。元気に楽しく遊具で遊ぶ子供たちの姿が目に見えます。

一方、高等部では、2月1日2日と短期職場体験実習が行われました。いつもと違う環境の中での体験は、緊張の中にも様々な学びがあったようです。

子供たちは、経験することで心が動き、学びを深めると考えています。私たちは、心が動く環境を整えて授業づくりをしていきたいと思えます。



5年生の袴姿！！



「おにはーそと！」



恵方巻も作りました。



砂場ももうすぐできあがります。



すべり台もトンネルも一緒になった複合遊具



高等部短期職場体験！集中して！いいねい！

「ふあせる田村」さんでは、品出しや値札付けを体験しました。



水槽の水交換！集中！

めだかも春を待っています。

立春が過ぎ、暦の上では春になりました。4月に開校した本校も、初めての1年が終わろうとしています。子供たちの成長を喜ぶと共に、保護者の皆様そして地域の皆様のご支援ご協力に感謝して、次年度に向けた準備を進めていきたいと思えます。

平成30年2月



～児童生徒一人一人の夢の実現をめざして～

福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子